



# 12月号 保健だより

平成 30 年 12 月  
愛媛県立大洲高等学校

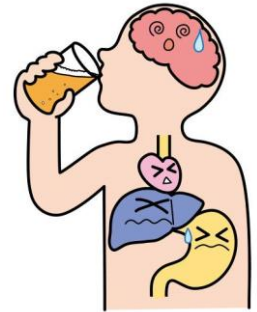
## 未成年者の飲酒について

### ★なぜ未成年者はお酒を飲んではいけないの？★

心や体が発育・発達の上にある未成年者は、大人よりも、アルコールの悪影響を受けやすくなります。

#### ＜脳への影響＞

長い期間大量に飲酒を続けていると、脳の神経細胞が破壊され、脳が萎縮するため、記憶力、判断力、思考力、意欲などの低下が起こります。脳が成長している未成年の時期から飲酒を続けていると、それらが加速します。



#### ＜生殖器への影響＞

アルコールは、男性性器の発育を妨げる危険があります。また、女性の場合には、月経が不規則になったり無月経になったりすることもあります。

#### ＜肝臓や脾臓などの臓器への影響＞

未成年者は、アルコールを分解する酵素の動きが未発達な上、未発達な臓器はアルコールに対する耐性が弱いいため、大人に比べて短い期間で障害を起こしやすくなります。

#### ＜急性アルコール中毒＞

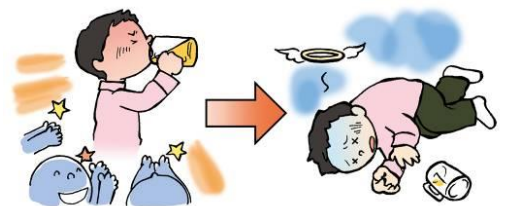
未成年者は、アルコールを分解する酵素の動きが未発達なので、一度に多量に飲んだ場合、大人よりも、急性アルコール中毒になりやすくなります。

#### ＜アルコール依存症＞

アルコールを飲み始める年齢が早いほど、短期間でアルコール依存症になりやすくなります。

### ★急性アルコール中毒とは★

急性アルコール中毒とは、アルコールを短時間に大量に摂取したため、血中のアルコール濃度が急激に上昇し、通常の酔った状態を超えて、意識障害、呼吸困難、血圧低下などが起こる状態です。重症になると、死亡する場合があります。



### ★アルコール依存症とは★

長い期間大量に飲酒を続けていると、次第に自分で飲酒の量をコントロールできなくなり、飲酒をせすにはいられなくなります。これがアルコール依存症です。お酒が切れてくると、動悸、不眠、手のふるえ、イライラなどの症状が表れ、ひどくなると、幻覚やhallucinationsなども見られるようになります。

### ★未成年者飲酒禁止法★

「未成年者飲酒禁止法」という法律で、次のことが決められています。

- 未成年者は酒を飲んではいけない。
- 保護者は、未成年者が酒を飲むのを止めなければならない。
- 未成年者に酒を売ったり、店を出したりしてはいけない。
- 未成年者に酒を売ったり店を出したりしないため、年齢の確認などをすること。



大人でも、飲み方を誤ると大きな害があるアルコールは、心や体が発育・発達の上にある未成年者にとっては、害になるだけです。絶対に飲まないようにしましょう。